環境経営レポート

（令和5年1月～令和5年12月）



環境活動レポート

目　　次






		頁
1,	組織の概要 ……	1
2,	環境経営方針 ……	2
3,	実施体制 ……	3
4,	環境経営標 ……	4
5,	主要な環境経営計画の内容 ……	5 ～ 6
6,	環境経営目標に対する実績 ……	7
7,	環境活動の取組結果の評価及び今後の取組内容 ……	8 ～ 9
8,	環境関連法規への違反・訴訟等の有無 ……	10
9,	代表者による全体の取組状況の見直し・評価・指示 ……	11


pixta.jp - 1091595





1. 組織の概要

①事業所及び代表者

新日本建設株式会社
代表取締役　佐野 友隆

②所在地

〒164-0013　東京都中野区弥生町1－28－3
Tel 03(6300)4591
Fax 03(6300)4592

③環境管理責任者

吉田　豊

④担当者連絡先

小池　淳代

⑤事業内容

土木・舗装・水道工事等

⑥事業の規模

設立年月日	昭和26年11月22日	
資本金	50,000千円	
完成工事高	925,383千円	（決算時期　令和5年12月31日）
従業員数	9名	
事務所延べ床面積	94㎡（1階　倉庫14㎡含む）	

⑦事業許可番号

許可番号	東京都知事許可 （特－4）第　10678号
許可の有効期限	令和10年3月4日まで
建設業の種類	土木工事業　とび・土工工事業　石工事業　鋼構造物工事業 舗装工事業　水道施設工事業　しゅんせつ工事業　塗装工事業

⑧ 表　彰

平成26年9月　東京都第三建設事務所　優良工事感謝状贈呈
平成28年8月　東京都第三建設事務所　優良工事感謝状贈呈

2.環 境 経 営 方 針

理　念

新日本建設株式会社は、お客様や社会から信頼され、満足していただける施工管理を事業として行っております。また、環境保全に配慮する行動指針を定め、社員一体となり環境保全活動に取り組むよう邁進し、環境経営の継続的改善に努めます。

環境保全に配慮する行動指針

1，建設リサイクル法やその他に関わる環境保全に関する法令及び要求事項の遵守をします。

2，以下について環境目標を定め自主的・積極的に実施計画を立て改善に努めます。

① 電気消費量削減に取組み二酸化炭素排出量の削減を推進します。

② ガソリン等の化石燃料使用量の削減・効率化に努め二酸化炭素の削減を推進します。

③廃棄物排出量の削減により環境負荷への削減を推進します。

④ 環境に配慮した施工の実施に努めます。

⑤環境経営レポートを広く外部に公表します。

3，全社員及び関係会社に環境経営方針を周知徹底し、環境保全の意識向上に努めます。

令和6年2月2日

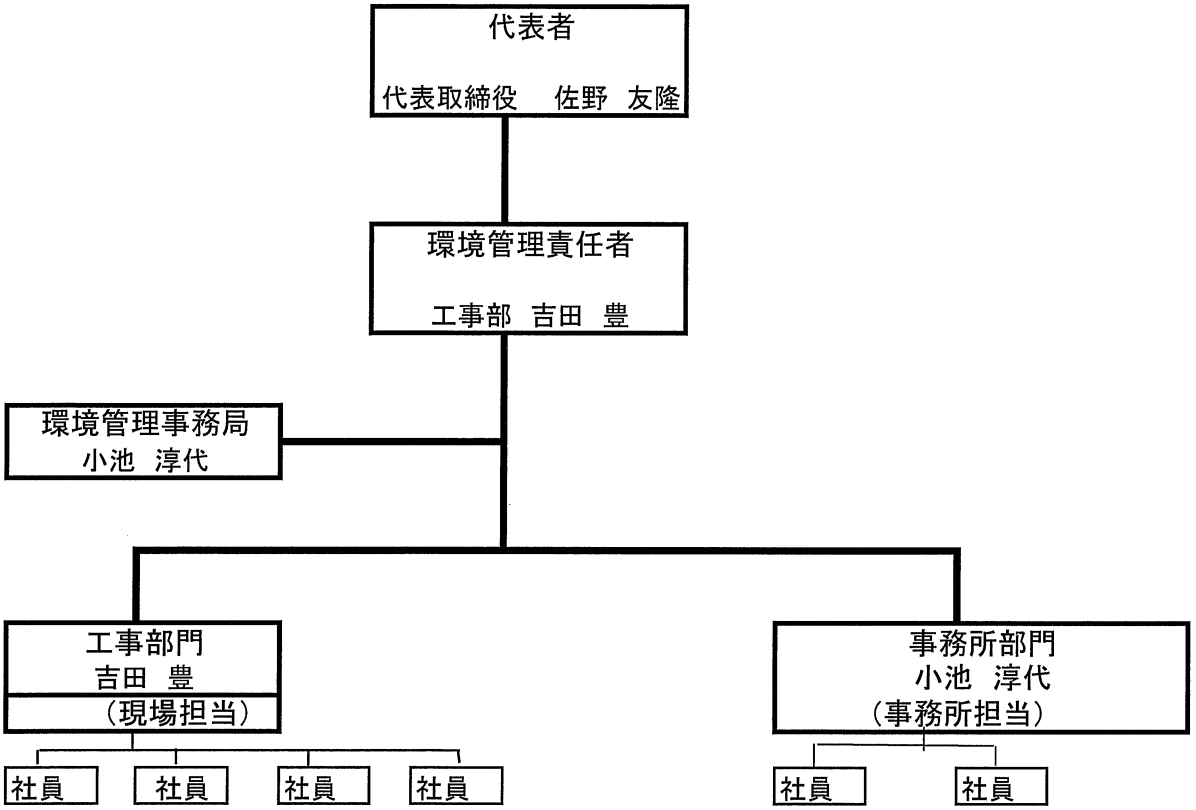
東京都中野区弥生町一丁目28番3号

新日本建設株式会社

代表取締役　佐野 友隆

3.実施体制

令和3年3月1日



役職等	役割・責任・権限
代表者 （代表取締役）	・環境経営に関する統括責任を負う
	・経営における課題とチャンスの明確化
	・環境経営システムの構築・運営・管理及び維持に必要な資源の用意
	・環境管理責任者の任命
	・エコアクション21事務局の設置
	・環境経営目標の設定の承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施する。
	・環境経営レポートを承認する。
環境管理責任者 （営業部長兼任）	・代表者に代わって環境経営システムを構築し、運用する。
	・環境経営計画を承認する。
	・環境経営システムの構築及び運用状況を代表者へ報告す
	・現場における環境経営計画及び実績表の作成
	・各現場代理人へ環境経営システムの説明及びチェックリスト作成の指示
環境管理事務局	・環境経営レポートを確認する。
	・エコアクション21の取組を推進する
	・代表者及び環境管理責任者の補佐をする。
	・事務所における環境活動実績計画書及び実績表の作成
	・環境経営計画の実施状況と実績の集計表の作成
	・環境経営レポートの作成し、公開する
	・環境関連における外部コミニュケーションの窓口となる
各現場担当及び 事務所担当	・各部門において環境経営システムを実施する。
	・各部門において環境経営方針を周知する。
	・各部門において各チェックシートの記録及び報告をする。
	・環境経営目標及び環境経営計画の実地・達成状況の報告をする。
	・各部門の問題点の発見及び是正並びに予防措置を行う
全従業員	・環境経営方針を理解し環境への取組の実施をする。
	・環境経営システムの積極的参加をする。

環 境 経 営 目 標

年　度	2022年（基準値）		2023年	2024年	2025年
二酸化炭素排出量削減	kg－CO2	21,426			
			21,426	**21,426**	**21,426**
電気使用量の削減	KWh	18,853	1%削減	現状維持	現状維持
			18,664	**18,664**	**18,664**
ガソリン使用量の削減	ℓ	5,485	現状維持	現状維持	現状維持
			5,485	**5,485**	**5,485**
廃棄物総排出量					
コピー用紙使用料の削減	枚	126,373	現状維持	現状維持	現状維持
			126,373	**126,373**	**126,373**
紙（可燃）	kg	880.65	現状維持	現状維持	現状維持
			880.65	**880.65**	**880.65**
ダンボール（資源）	kg	12	現状維持	現状維持	現状維持
			12	**12**	**12**
産業廃棄物排出量	㎥	設計図書及び特記仕様書に忠実に行う			
再資源化率の向上	%				
総排水量	㎥	156	現状維持	現状維持	現状維持
			156	**156**	**156**
地域との協調ならびに景観保存		設計図書に忠実に従い、地域の景観をできる限り保存するとともに、工事全体における苦情、事故の発生をなくす。			

5. 主要な環境経営計画の内容（事務所）

環　境　経　営　目　標	主な環境経営計画の内容
1. 二酸化炭素排出量削減 電気使用量削減	1）電灯、PC等不要時の消灯及び電源のOFF 2）長期使わない物・TV・テプラの元電源OFF 3）空調温度の適正化(冷房：27℃　暖房：22℃ 4）扇風機を併用し効率的な空調温度にする 5）LED電球の導入の検討 6）アイドリングストップ、エコドライブの実践 7）節電シールの貼り付け
2. 廃棄物排出量削減	1）分別排出の励行 2）パソコンからのプリント時の印刷プレビューでの確認の習慣化 3）PDFファイル他でプリントしなくても見れる回覧他のペーパーレス化の検討と実行
3. 水使用量の削減	1）定期的に水漏れ他のチェックをする
4. グリーン購入	1）エコマーク・グリーン製品の優先的使用

5. 主要な環境経営計画の内容(現　場)

環　境　経　営　目　標	主な環境経営計画の内容
1. 二酸化炭素排出量削減 電気使用量削減 ガソリン使用量削減	1)工事用車両・重機のアイドリング・ストップを促進し、軽油・ガソリンの消費を抑制する。 2)建設現場の照明器具省エネ化を検討する。 3)最大積載量をしっかり守り車両に負担をかけない。 4)下請け会社・その他取引先へエコドライブの協力 5)排ガス規制の機械を選択します。
2. 廃棄物排出量削減	1)分別排出の励行 2)廃棄物の適正処理 *マニフェストにより廃棄物の適正処理 *ゴミの分別の徹底 *廃棄物処理の現場教育 3)無駄な廃棄物を搬出しない様チェックし、混合ガラを搬出ないよう(コンクリート・アスファルト・残土等)分別いたします。
3. 節水の励行	1)工事濁水による水質汚染の防止に取組んでいる。 2)重機等に使用する水道水を必要以上に使用しない。 3)水が余っても、次回の現場で使用し、処分しないよう管理します。
4. 再資源化率の向上	1)設計図書及び特記仕様書に忠実に行う
5. 地域との協調ならびに景観保存	1)工事中の樹木の保護 2)掘削・盛土工事における地盤変化の防止及び配慮 3)工事作業中の水道管・ガス管の埋設管を破損しないよう注意する。 4)低燃費なエコ機械を選択し使用する。 5)自分でだしたゴミは持ち帰り処分する。

6. 環境経営目標に対する実績

取 組 項 目	単位	排出実績	目標値	評価
二酸化炭素総排出量(B)	Kg-C02	19,845	21,426	○
電気使用量の削減	KWh	18,412	18,664	○
ガソリン使用量 の削減	ℓ	4,895	5,485	○
廃棄物総排出量				
コピー用紙使用量の削減	枚	100,379	126,373	○
紙(可燃)	kg	880.30	880.65	○
ダンボール(資源)	kg	12	12	○
産業廃棄物排出量	㎥	設計図書及び特記仕様書に忠実に行う		○
再資源化率の向上	%			
総排水量	㎥	156	156	○
地域との協調ならびに景観保存		騒音・振動による苦情事故なし		○

※二酸化炭素排出係数は令和5年度の0.461Kg－co2/kWhを使用
※現場ガソリン、軽油、LPGは下請け企業が負担、当社の実績はない。

7. 環境活動の取組結果の評価及び今後の取組内容(事務所)

環境経営目標	取組結果	結果の評価	今後の取組内容
①電気消費量の削減	○	目標値をクリアできました。 要因として、コロナ対策の緩和、真夏だけはクーラーの使用が多かったが 一年をとおしては暖冬の流れもあり人数増えた割には結果がよかったです。	本年度の取組を継続
②ガソリン使用量の削減	○	目標クリアできました。 現場の場所や規模から目標値も現状維持としたという理由からもありますが 現場からの直行直帰も減った理由かもしれません。	ハイブリッド車の導入検討 通勤ルート他の見直し
③コピー用紙使用量の削減	○	目標値クリアできました。 印刷前のプレビュー確認他みんなが気にして作業してくれた結果かもしれません	本年度の取組を継続
④～⑤ 廃棄物の削減	○	ゴミの分別は、ごみ箱を排出項目毎に分けることで実現 できております。 段ボールの多くはコピー用紙の容器ですので、コピー用紙の 使用量を減らすことが、段ボールの削減につながると思います。 尚、ミスプリントの裏面を再使用することに努めたのも削減に 一役買っております。	本年度の取組を継続
⑥水使用量の削減	○	最低限の生活用水使用ですが、水道の閉め忘れや水漏れの チェック等により無駄な水の使用の縮減を心掛けました。	本年度の取組を継続
⑦グリーン製品の購入	○	今後トイレットペーパーや洗剤などもグリーン商品に 移行していくようにします。	本年度の取組を継続

7. 環境活動の取組結果の評価及び今後の取組内容（現場）

環境経営目標	取組結果	結果の評価	今後の取組内容
①二酸化炭素排出量の削減		目標を設定しておりましたが、現場においては電気・ガス・ガソリン共に下請業者の工事機械・仮設器具等で使用している分ですので、今回からは下請業者に各項目の削減に努めるよう指導にあたることといたします。	本年度の取組を継続
②ガソリン使用量の削減		同　上	同上
③液化石油ガス（LPG）使用料の削減		同　上	同上
④廃棄物排出量の削減	○	再生可能な廃材についてはリサイクル処理施設に搬出し、その他については、設計図書に従いマニフェスト等により管理し、現場内で利用できるものは出来る限り再使用しました。	同上
⑤水使用量	○	水洗い等による使用量削減のため、作業中の掃き掃除をこまめに行ったり路面をよごさないようコンパネを敷くなどして、現場を綺麗に保つよう心がけました。	同上
⑥再資源化率の向上	○	設計図書及び特記仕様書どうりに実施できました	同上
⑦地域との協調ならびに景観保存	○	低騒音・低振動の重機や機材を使用して、苦情の抑制に努めました。景観保護の一環として、重機の熱による植物への影響を避けるためシートなどで、沿道の植物を保護しながら施工する等の対策を講じました。	同上

8. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

弊社事業所に関する環境関連法規制は以下の通りです。

環境関連法規への違反及び訴訟はありません。

なお、関係当局からの違反等に関する指摘は過去3年間ありません。

○ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
○ 資源有効利用促進法
○ 家電リサイクル法
○ 建設リサイクル法
○ 中野区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
○ 東京都建設リサイクルガイドライン
○ 労働安全衛生法
○ 東京都環境確保条例
○ 中野区環境基本条例
○ 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律
○ 騒音規制法・振動規制法

9. 代表者による全体の取組状況の見直し・評価・指示

環境経営目標の再設定をしました。
コロナもあけて、日常を取り戻し、社員も2名増員となりましたが、ほぼ目標をク
できたのはよかったと思われます。
日々の変化がなかなか気が付かないエコアクション21の取り組みは大変だと思
ますが、少しづつでもCO2の削減ができるよう続けていってほしいです。
令和6年は労務班も作り、社員も増えていくと思いますが、この取り組みを周知し
意識をもって進めていってもらえたらとおもいます。

令和6年　2月　24日

新日本建設株式会社

代表取締役　佐野　友隆